

春の山田の森フェスタ 5月11日(土)12日(日) 小倉北区 山田緑地

北九州市のオアシス山田緑地に、春の訪れが感じられるイベントです。青少年ボランティア達は、イベントの受付補助や来場者数のカウントなどの運営補助をしました。



○ 受付をしたり各室の人員整理をしたりしました。受付は、私以外に一人いたのでその人と協力してやり遂げることができました。人員整理は、あまり人が来ないときもあったけど、来た人のチェックすることができました。春の山田の森フェスタは、今回が2回目です。1回目より積極的に動くことができたと思いました。ボランティアは、少しでも誰かの役に立つことができるので、これからも頑張っていきたいです。【折尾愛真高校2年】

○ 最初は、人が全く来ないのではないかなと思ったけど、9時を過ぎると少しずつ人が来るようになって、「おはようございます。」と元気に声をかけると、残念なことに声を返してくれる人は数名しかいなかったけど、一度通り過ぎて戻ってきてくれる人もいて、やっぱりコミュニケーションを自ら取ることは大切なのだなと思いました。私は人前に出ることは好きだけど、どちらかと言えば内気で、自分から声をかけることをあまりしてこなかったけど、勇気を出してたとえ無視されようが、どんな人が来ようが、芯を強くもつことで、やっと相手も返してくれるようになって、また一つ大切なことを身に付けました。二日間ボランティアをしたけど、どちらも違う内容にして本当に良かったです。この二日間を通して、私は人として大きく成長できたのではないかなと思っています。11日は行動・作業・技術を、12日は内面的な部分を、一歩前進することができました。【九州国際大学附属高校3年】

北九州市障害者スポーツ大会 卓球・サウンドテーブルテニス競技 5月12日(日) 小倉北区 障害者スポーツセンター アレアス

卓球やサウンド テーブル テニス(アイマスクをして音の鳴るピンポン玉を打ち合う卓球)で、障がい者が競い合いました。青少年ボランティアは、大会の運営補助活動を通して、障がいのある方やパラスポーツにも触れることができました。



○ 人によって障がいの度合いは違うので、ボールを渡すのは網からではなく、手の方がいいなと思いました。【九州国際大学附属高校2年】
○ 福祉系が進学希望なので、とても良い経験になった。【北筑高校3年】
○ 初めて障がいのある方と関わって、普段では味わうことができない経験ができた。【北筑高校3年】

ハートフルコンサート 5月12日(日) 小倉南区 小倉南生涯学習センター

地域に住む、あるいは施設の高齢者や障がい者と子ども・学生が垣根を越えて交流することを目的にしています。青少年ボランティアは、受付や車いすサポートなどの運営補助の役割を担いました。



○ ハートフルコンサートのように市民の方々がステージ上で演じるイベントに参加するのは初めてで、皆さんの生き生きとした姿にとても感銘を受けました。動画で記録を撮る大事な役割を全うできて、ホッとしています。ボランティアを通じて知り合いや友達が増え、毎回参加するのが楽しいです。オカリナ演奏やダンス、フラダンスなど高齢の方々が年齢よりもはるかに若々しく見え、何かを始めるのに年齢は関係ないのだなと強く実感しました。【北九州市立大学3年】

デイキャンプ イン よみや 2024 5月19日(日) 戸畑区 夜宮青少年センター

日帰りキャンプで、野外調理やクラフト制作などの体験を小学生が行いました。青少年ボランティアは、事前の研修(5月12日実施)で学んだ経験を活かし安全に楽しく活動できるよう、子ども達に指導やアドバイスをしました。



○ 今回の活動では、子どもの体力が底知れないということを実感しました。また、子ども達の性格も様々で社交的な子、内気な子、自分中心な子など多様なメンバーが揃っていました。今回、自分が受け持った班の子どもは6人と少ないですが、一日中心労が絶えませんでした。初めはメンバーに不安も感じましたが、相手の話をよく聞くこと、質問すること、少しオーバーなリアクションをとること、学校の先生よりも密な距離で接することなどで、親交を深められたと思います。今回は何よりも嬉しかったのは、子どもから「今日来るのは、迷っていたけれど、来て良かった。ボランティアさんに会えたし。」と言ってもらえたことです。今後の目標である「様々な年代の人とのコミュニケーションを図る」ことに活かしたいと思いました。貴重な経験になりました。【東筑高校2年】

黒崎よさこい祭り 2024 5月19日(日) 八幡西区 黒崎地区

よさこい祭りを通して、市民相互の活発な交流の場が生まれ、北九州・黒崎のまちづくりを大きく前進することを願っています。青少年ボランティアは、このイベントでの会場進行整理や参加者への給水などの役割を担いました。



○ 黒崎よさこい祭りの運営のお手伝いを通して地域に還元する楽しさを知れました。私はまだあまり将来の夢などが無かったのですが、今回の活動を通して、地域に貢献できる職業の可能性を感じることが出来ました。そして、私は積極性が少し低いと感じたので改善していきたいです。【九州国際大学附属高校2年】

撥川ホテル祭り 5月25日(土) 八幡西区 黒崎ひびしんホール前芝生広場

一度はホテルがいなくなってしまう撥川の環境を官民一体となって取り戻し、年々飛翔するホテルの数が増えています。青少年ボランティアは、その環境を地域住民の手で守り抜いていこうという願いのこもった祭りの運営補助を頑張りました。



○ 私は初めてボランティア活動に参加するので少し緊張していましたが、周りの方がとても明るく優しく接してくれたので、楽しく活動を行うことができ、やりがいも感じられました。着ぐるみの中はとても暑く大変でしたが、私は子どもが大好きなので、多くの子どもと触れ合うことができて良かったです。子ども達の喜ぶ顔を見て、安心したのと同時にやる気も湧いてきました。ご飯の支給もありがとうございました。お祭りも存分に楽しむことができました。機会があったら是非また活動したいなと思いました。【北筑高校2年】

○ 私は黒崎中学校のエコ・ガーデニング部というホテルを育てて放流する部活動をしていたので、今回ボランティアは初参加でしたが、このホテル祭りは数度目の参加となりました。活動中は、中学生の頃を思い出して懐かしい気持ちになりました。ボランティア活動では、着ぐるみに入って普段触れ合う機会のない小さなお子さん達とたくさん関わることができて、色々貴重な体験となりました。小さなことでも誰かの役に立てるとするのは、嬉しいことだと感じたので、このことを今後活かしていこうと思います。【九州女子大学3年】